

つぎの ぶんしょうを よんで、もんだいに こたえましょう。

みちをわたるところには、しんごうがあります。しんごうには、青、きいろ、赤の三つのいろがあります。

青は「すすんでもよい」というしるしです。でも、青になっても、すぐにとび出してはいけません。右と左をよく見て、車がとまっているかたしかめてから、わたります。

きいろは「もうすぐ赤になる」というしるしです。まだわたりはじめていないときは、とまってまちます。

赤は「とまれ」のしるしです。いそいでいても、赤のときは、わたってはいけません。

しんごうのいろは、みんながあんぜんにみちをつかうための、たいせつなやくそくなのです。

(このもんだいのための かきおろし)

(一) 青は、どんなしるしですか。「というしるし」につづくように、ぶんしょうから十字までで、かきぬきましょう。

(二) 青になったら、わたるまえに、なにをしますか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア すぐにとび出す。

イ 右と左をよく見て、車がとまっているかたしかめる。

ウ 目をつぶって、はしってわたる。

--

(三) きいろは、どんなしるしですか。「というしるし」につづくように、ぶんしょうから十字までで、かきぬきましょう。

(四) しんごうのいろは、なんのためのやくそくですか。二十字までで、かきましょう。
